

リンパ節転移陽性(pN1)前立腺癌において術後補助療法導入を規定する因子の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。
ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡ください。

研究の目的と方法

前立腺癌に対してロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術(RARP)を受けた患者さんの中には、手術後の病理検査でリンパ節転移陽性(pN1)と診断される方がおられます。このような患者さんは再発リスクが高いとされていますが、手術後に追加治療を行うべきかについてはさまざまな考え方があり、ホルモン療法、放射線治療、両者の併用療法、または経過観察が選択されています。

本研究では、当院で RARP を受け、pN1 と診断された患者さんを対象に、どのような患者さんで術後補助療法が導入されているのかを調査します。診療録に記録された患者背景、病理検査結果、術後の PSA 推移などを解析し、術後補助療法導入に関連する因子を明らかにすることを目的としています。なお、この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。診療を通じて得られた情報のみを使用します。

研究の対象となる方

2013 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに当院で RARP および骨盤内リンパ節郭清術を受け、術後病理診断でリンパ節転移陽性 (pN1) と診断された方

使用する試料・情報

年齢等の患者背景、術前検査結果、手術関連情報、病理検査結果、術後 PSA 推移、術後治療内容、生化学的再発に関する情報

使用開始予定日：2026 年 9 月 17 日

研究予定期間

2026 年 9 月 17 日～2027 年 4 月 17 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。氏名や患者 ID などの個人を特定できる情報を削除し、研究用 ID を付して管理します。患者 ID と研究用 ID の対応表は適切に管理し、外部に漏れないよう取り扱います。研究成果を学会等で発表する予定ですが、個人が特定されることはありません。

〔研究情報管理責任者〕 泌尿器科 右田敏起
〔個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止するとともに、収集した情報等も可能な限り削除します。既に研究成果の公表後などで削除が困難な場合は、その旨をご説明します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係がなく、ご協力いただけない場合も不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 泌尿器科 右田敏起

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000（代表）